

恵の聖母の家 園内報

ルルドの丘

2021
12月
No.50



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ



▼写真は、入所利用者さんが竹筒(竹ぼんぼり)を鑑賞し楽しんでいる様子。施設長と利用者さんの交流の様子は、

巻頭言

二〇二二年四月着任して、「明るく楽しい恵の聖母の家」をスローガンにあげていました。しかし、実際に勤務してみると、すぐに自分の間違いに気づきました。

「明るく楽しい恵の聖母の家」は既に存在していました。

昨年来のコロナ禍で面会や外出も制限された中でも、季節行事や活動に入所利用者の方々が十分に楽しめるような創意工夫がなされていました。私も時間が許す限り行事や活動に参加し楽しい時間を過ごすことができました。

おそろくこれからも「明るく楽しい恵の聖母の家」は続くでしょう。

さて、私が恵の聖母の家に着任して一番変わったこと、それは脚力です。四月に着任してからは、仕事の日は大分市戸次のアパートで暮らして、週末は日田市の家に帰るという生活でした。しかしコロナ感染者の増加と共に移動困難になり、日田の家に帰ることができなくなりました。

車は自分の年を考えて手放してしまっていたのでドライブもできない。結局、休日の空いた時間は戸次の大野川

川の堤防の道を散歩するという習慣ができました。

更に勤務日は会議やデスクワークがない日は病棟や生活介護の様子を見に行き、入所者さんや通所利用者さん達に会って話しかけるようになりました。

その後、日田への往来は可能になりましたが、歩く習慣は残り、勤務日は時間が許す限り施設内を、帰宅後は買い物や近所のスーパーに行ったりと、歩き回っていました。

その様な生活を続けて半年余りたつたころ、自分の両下肢、特に大腿部が明らかに太く固くなっているのに気がつきました。確かに最近はずっと歩いても余り疲れを感じなくなり、筋肉は年をとっても鍛えられると、改めて気がつきました。

そして私の下肢の筋力強化に最も寄与して下さったのは、入所利用者の皆様方です。出勤して、一通り業務を終えたと、すぐに入所利用者の方々に会いたくなります。午前、病棟が落ち着いたところを見計らって、まずは医療処置が少ないひかりの大地へ行くことが多いです。各部屋を回って、入所利用

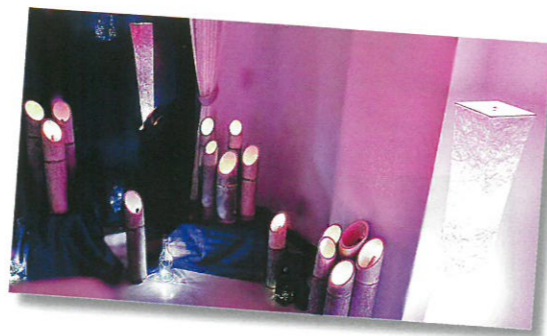
者さんに声をかけておしゃべりをします。こちらが一方的に話していることも多いですが、視線があったり、笑顔が帰ってきたりするので、きつと分かって下さっていると信じています。

こうして一つの病棟を回り終えたら、いったん自室に戻り、今度は別の病棟へとほぼ出勤日は少なくとも一回は各病棟を回るように決めました。その結果、思いもよらぬ健脚を獲得できました。

しかし、よく考えたら、病棟スタッフをはじめ恵の聖母の家の職員の皆様方は、毎日の療育の中で入所利用者さんを抱えたり、支えたりして私より強い脚力をお持ちのはずで、

二〇二二年は、コロナが完全消滅して職員さん達がその強い脚力を活かして恵の聖母の家の入所利用者の方々にあちらこちらの場所に連れて行って、楽しい時間を過ごせるようにできる年になることを願っています。

施設長 中島 正一



▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします。 ▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします。



きらりん

【条件付き面会の再開】

10月13日より両親・後見人との面会が再開されました。居室外の「談話（面会）室」「学習棟」「あゆみ棟多目的室」の面会と、グリーンベルト（テラス）からの窓越しでの面会です。また、新型コロナウイルスワクチン2回接種済の方で30分以内、未接種の方は15分以内の面会条件もあります。それでも、利用者さんの両親・後見人の方にとっては、対面で直接に話せることはこの上ない至福の時間です。

窓越し面会では、「職員さんから日頃の様子をきくだけだったのが、短時間でも、表情をみて親子だけの対話や関わりが持てるようになり良かった。」「今後は、昼食も一緒に食べられるようになるといい。」など、喜びの感想がきかれました。

ご面会の時はマスクを着用してください



10月26日からは、両親・後見人以外（兄弟姉妹）の配偶者等を含め、3名以内の面会もできるようになりました。

*面会には、日時場所の調整が必要なために事前のご予約が必要です。

問い合わせ・予約：毎週月曜日 10時～17時 / TEL：0974（32）7770（代）看護総師長：藤井まで
面会曜日 / 時間帯：毎週火・水・木・土・日（入浴日以外） / 10時～16時（★30分内で調整）

【行事の紹介】

12月9日（木）クリスマスの集いは感染防止のため、各棟に分かれてリモート形式で行いました。今年も施設行事は、みんなで集い交流が難しい状況なので、お互いの元気な姿がみられるように、クリスマスソングの合唱を各棟で事前に録画をしました。当日はその様子を大型スクリーンで鑑賞しました。



聖劇鑑賞

あゆみの広場は、月あわてんぼうのサンタクロース
のぞみの丘は、♪サンタが町にやってくる
ひかりの大地は、♪赤鼻のトナカイ

参加利用者さんは、クリスマスの衣装を着て元気いっぱいの演奏でした。そしてもう一つ、クリスマスには欠かせない聖劇～イエス様ご誕生の物語を上映しました。こちらは職員11名が登場人物に扮して、衣装を身にまとい熱演する姿や幻想的な映像をみながら、イエス様のお誕生をお祝いしました。今回のクリスマスの集いは、画面を通し久しぶりの友の姿に会い、お互いに心がほっこりするようなひとときが過ごせるような企画で行いました。



合奏写真

また施設内の装飾にも、日杵市で11月に開催される竹筒の竹ぼんぼりをペンライトの光で再現し、クリスマスの雰囲気をかもしだして、これまでにない演出でのクリスマス会にしました。



(2021年度クリスマスの集い実行委員長：保育士 赤嶺 綾)

表紙写真は、2021年12月クリスマスの集い「聖劇」の写真です。('ω'*)



▼各部署の声です。今年度の目標は「きずな」です。



皆さんはここ数年のコロナ禍をどうお過ごしですか。

私は、コンサートや旅行に行けず、ドライブも住んでいる県南中心になっていきます。が、外食はあまり好きではないので、そのあたりに関しては、少しストレスがないかもしれません。

そこで、夜はもっぱらネットでライブや映画を見たりしています。「コンサートに行くと思えば安い。」と頑張っていましたが、いろいろなグループや映画に手を出してしまい、結局「かなり浪費しているのでは？」と反省しているところです。

休日には、畑や山に出て両親の手伝いをする時間が増えました。あまり広い畑ではないのですが、季節の野菜を育てています。私の役割は主に草取りと水やり、収穫、花や果樹の管理です。

夏はブルーベリーやブラックベリーを収穫してジャムや酢を作ります。

秋は柿です。渋柿はないのですが、先日頂いたので干し柿を作りました。



山は、榎や桜、カボスが有り、剪定や収穫をしています。木が高いので、身長低い私には、枝切りを持っていてもどこかないところがあり、四苦八苦しています。

身近なところで楽しんでいる昨今ですが、本当のところ「外に出たい！」です。コロナが収束したらまずは大阪にいる伯父と伯母に、東京にいる従弟と親友に会いに行きたいと思っています。「早く収束しますように。」

作業療法士 森矢 英子

訓練課

コロナ禍の過ごし方



▼各部署の声です。今年度の目標は「きずな」です。

看護課

圧力鍋の話

総看護師長 藤井 智恵



一般家庭のキッチンでも、ごく普通の調理器具としてすっかり定着した感のある圧力鍋、実は、私は今まで圧力鍋というものを使ったことがありませんでした。えっ、遅れていると思われた方もいるでしょう。

家庭を持っている主婦のみならず、毎日夕方近くになると夕飯何にしようかと悩みませんか。食材は買ったものの仕事に疲れ、帰宅してから時間をかけてご飯の支度、面倒くさいなあ、短時間で料理ができればいいなと、つぶやいていた矢先、先日娘から圧力鍋を勧められました。使いこなせるのかという不安はありましたが、ついつい購入してしまいました。

さて、圧力鍋というと、メリット・デメリットがあるようで、メリットは何と言っても調理時間の短縮です。調理時間が短縮できるのもう一品おかずを作る余裕もでき、栄養バランスのよい献立が用意できたりします。そして、光熱費の節約にもつながります。火から下した後も、鍋の中では加圧調理が続くことも特徴のひとつです。使い方も簡単、カットした材料と調味料を投入して加圧するだけで簡単に料理ができ上がります。かぼちゃの煮物が数分ででき、栗ご飯も炊けた時には感動しました。また、圧力鍋で調理すると、食材の栄養を逃さないというメリットもあるようで、野菜の中には、皮に最も栄養があるものがあるものもあります。

魚も骨まで柔らかく仕上がります。カル

シウム不足は、イライラの原因になるの。普段の食事でしっかりと取りたい栄養素です。皮をむくのが難しい食材、栗や里手などは、ちよっと加圧することで、皮がふやけて楽にむくことができます。

しかし、デメリットもあります。蓋をして加圧を始めた後、途中で開けることができないため、味見することはできません。まずはレンジで通りに調味料を作り、あとは何回か料理しているうちに、自分の好みの味にしていけばいいのかなと思います。

また、鍋が大きく場所を取り、重いのもデメリットです。圧力鍋の加圧調理という仕組みのためには鍋の中に、ある程度のスペースが必要で、見た目ほどには中に食材を入れることができません。他の鍋にない定期的なパッキンの交換も必要になります。このようにデメリットもありますが、私にとっては、短時間で料理ができるということの方が本当に魅力的です。

家族からは、圧力鍋信者のように言われていますが、忙しい主婦にとって圧力鍋は強い味方です。

被服課

洗濯場から一言

洗濯場スタッフ一同



洗濯場です。ここ数年で、洗濯場の職員の顔ぶれも変わってきました。

二〇二一年六月からは、松下さんが洗濯場に加わって三人体制の新しい洗濯場として再出発をしています。

松下さんは、用務の仕事しながら、洗濯場にも応援に来てくれて被服課の業務も経験があるので心強く思っています。

二〇二〇年度からの新型コロナウイルス感染症の流行で、以前はひかり棟の利用者さんが、ナフキンたみに来て一緒に作業をしたり、運動会行事に参加してふれあい交流ができていましたが、その機会も少なくなり、とても寂しく思っています。

今は、利用者さんが気持ちよく使ってもらえるように、清潔面に気を配りナフキンを洗濯したり、服の名前を見ながら、利用者さんの顔を思い浮かべ間違えないように丁寧にたたんでいます。

コロナウイルス感染症が早く落ちついて、利用者の方とナフキンたみや行事に参加しふれあう場面が増えることを願っています。

洗濯場も新しい仲間と新たな気持ちで、頑張っていきたいと思えます。これから、よろしくお願ひします。

生活福祉課

自分でできること、続けていくこと

介護福祉士 川野 大輔



私は恵の聖母の家で働き始めて三年目になりました。思い出し、一人の利用者さんとの出会いでした。

一年目は、自己紹介から始まり、お互いのことを話してよく笑いました。

とてもよく笑い、自分のことを話してくれる方だと印象を受けました。部屋を訪ねて「おはようございます。」と声をかけると、笑顔で返事をしてくれ、仕事でも自分のことを探してくれたりしていました。

二年目、新型コロナウイルス感染症の流行で家族との面会ができなくなりました。ビデオ通話ができるようになるまで利用者さんから「家族のことが気になって仕方がない。」と夜勤の間も何度か話を聞きました。

私は利用者さんへ「気持ちが悪く落ちつくまで側にいますよ。」と声をかけると、利用者さんが「お願いします。」と言ってくれました。特に話をするわけでもなく、寄り添い肩や背中を軽くさすったり、タッピングをすると少しずつ落ちついたようでした。

落ちついてくると「ありがたう、またお願いします。」と言ってもらえました。

福祉の仕事に就いて十五年経ちますが、利用者さんに寄り添うことで、その人の気持ちや落ちついてくれたり、笑顔になったり、元気な様子がみられるととても嬉しくやりがいを感じます。

これからも、利用者さんの気持ちに寄り添いながら、利用者さんが安心して笑ってくれるような接し方を続けていきたいと思っています。

7月7日(水)あゆみの広場「夏の集い」を行いました。

第一部は、利用者さんによるカラオケ大会。好きな歌や自慢の衣装を披露すると、会場の利用者と支援者も団扇で応援し会を盛り上げてくれました。



第二部は、支援者の出し物「カトちゃん、ケンちゃんのひげダンス」「オヨネーズの麦畑」の登場に利用者さん、会場も笑いに包まれていました。



第三部は、会場のみみんなで「炭坑節」の曲にあわせて盆踊り。その後は、夜空を彩る花火を楽しみました。



7月15日(木)のぞみの丘「夏の集い」を行いました。

参加利用者さんは、浴衣や甚兵衛を着て、おやつのカラフルゼリーが涼しげでおいしそうでした。のぞみ棟では、パネルで浴衣姿の記念写真やグループに分かれてグラスアートの制作をしました。



夏をイメージする氷や朝顔、ヨーヨーやうちわなど、色を変えて支援者と工夫しながら、楽しんでいました。

作品は、ホールに展示して皆さんにみてもらいました。



8月19日(木)ひかりの大地「夏の集い」を行いました。利用者さんは、ふわトロかき氷を堪能。イチゴ・メロン・ブルーハワイから氷の蜜を選んだり、練乳やあずきのトッピングも楽しんでいました。



第二部は、利用者さんと支援者ペアによる「カラオケ大会」8組が出場し練習の成果を披露しました。

会場は、透明フィルムの仕切りを設置し感染予防対策をして行いました。



8月24日(火)あゆみの広場 夏休みの思い出「水遊び」

訓練士と保育士が「児童に夏しかできない水遊び」を企画し、医師や看護師に協力を頂き実施しました。



女兒は、訓練士に抱かれ大きいプールに入り、水温や水の感触にも驚く様子もなく、気持ちよさそうに揺られていました。

男児は、入前からバケツやボールを見つけると、容器の水に手を入れたり、ボールをプールの中に投げ込んで大はしゃぎしていました。



プールに入ると、訓練士と水鉄砲に興味を示し、一緒に押しで勢いよく飛び出す水に喜んでいました。

9月8日(水)全体研修 BLS一次救命処置について

職員の全体研修は、3密を避けるため2階会議室・病棟ホール・各部署スタッフルームで参加するリモートで行われました。2階会議室では、新人職員を中心に「意識喪失や心肺呼吸停止の方を発見した際の対応法」の実技演習がありました。①応援(医師・看護師)を呼ぶハリーコールの使い方②救急カート・AED・モニターの救命器具を揃える③発見時の様子、状況を伝える新人職員がペアを組み、医師の助言を受けながら救命処置、心臓マッサージやマスクによる換気を実践しました。



9月2日(木)、家族の日を行いました。昼食に家族の日弁当が用意され、行事の雰囲気盛り上げてくれました。



今年度もコロナ感染対策のため、家族・後見人、ボランティアの参加はありません。

中央ホールで代表者が「開会のあいさつ」をしてスタート。みんなで準備体操を、BTSのDynamiteの曲に合わせて、支援者がマッサージをしたり、自分でリズムをとり、身体を動かしました。

今回は家族の日にちなみ、家族や後見人の方との繋がりや想いを込めて、しおりを作りました。

各棟の保育士・介護福祉士が作り方を説明しながら、支援者と押し花やマスキングテープ・スパンコールなどの飾りを選び、メッセージを相談しながら書いていました。



利用者さんの声で、閉会の言葉が流れると各棟から拍手が鳴り、家族の日行事を終了しました。



10月20日(水)のぞみの丘 スイーツバイキングを行いました。居室は華やかなハロウィンパーティの会場に変わり、利用者さんは、美味しく食べて、

目の前でわた菓子を作ってもらい、手でつまんで食べる方もいて、とても楽しんでいました。



10月26日(火)ひかりの大地

スイーツバイキング 4種類のケーキが用意され、好きなケーキを選び味わいました。

参加者は、仮装しておぼけのかぼちゃと記念撮影をしました。



6月19日(土)ふれあい運動会を行いました。今年も新型コロナウイルス感染症対策のため、各棟の様子をリモートで繋いで、玉入れ競技やダンスを行いました。入ったボールの数をカウントし合い、ひかりの大地の優勝で盛り上がりました。



今年は、団旗も作り替えて、応援に華をそえていました。



お楽しみ運動会弁当、おいしそうに食べていました。



8月3日(火)・4日(水)アートクラブの作品販売会をホールで開催しました。クラブで制作した絵画や絵手紙をポストカードやポチ袋にプリントして販売をしました。



クラブで制作した利用者さんも、店頭で立ち買いに来られた職員さんと交流を楽しみ、商品が売れると「ありがとう、ございました。」と嬉しそうでした。





児童発達支援センターめぐみ

児童発達支援管理責任者 竹尾 昭彦

◆四月、東京オリンピック・パラリンピック二〇二〇の聖火リレートーチをつなぐ国内イベントが三月から始まりました。センターめぐみでも、トーチを作り県内の市町村をめぐり方式で周るといったアイデアのレクリエーション活動を行いました。参加した利用者は各々、笑顔をみせたり、リラックスした様子でトーチを順番につないでフロアー内を支援者と一緒に移動し、次の方へつなぐことでオリンピックの醍醐味である聖火リレーの雰囲気味わうことができました。



◆五月、「マーブリング」を行いました。マーブリングとは、絵の具よりも比重が重いマーブリング液の水面に数色の絵の具を垂らし、水面で広がったり、混じりあったりしてできたマーブル模様を紙に写



し取るアート技術です。洗濯のりと水の割合を試行錯誤で、きれいな色が出るように微調整し、利用者と一緒にカラーへ写し取りました。でき上がった作品を見るとどれも鮮やかで、いろいろな色や模様をそれぞれが楽しめました。



◆六月、佐伯支援学校高等部二年生二名を迎えて生活介護の現場体験実習が行われました。

本日の活動は「太鼓相撲」でした。自分の名前に〇〇山、〇〇川などの四股名を考え、トーナメント制で対戦しました。

初めての実習でしたが、すぐに周りの利用者や支援者にも慣れ、充実



した実習を送ることができました。また、次回の実習も楽しい活動を準備してお待ちしています。

「センターめぐみ・ふれあい運動会」

昨年にも引き続き、センターめぐみでは今年も六月の第四週を「センターめぐみふれあい運動会ウィーク」と題し、三日間に分けて活動の中でいろいろな催し物を体感し、参加した利用者各々が運動会の雰囲気を味わうことができました。

来年こそはコロナが収束して、また入部門と合同で運動会が盛大に開催できることを願います。



◆九月、センターめぐみ・

家族の日カラオケ大会
六月の運動会同様に施設行事が中止となったため、家族の日にならんで、センターめぐみ家族の日カラオケ大会、を行いました。平成、令和の時代など誰もが一度は耳にしたことのあるヒット曲を楽しい雰囲気の中、素敵な衣装に着替えてステージ上で歌うことができました。

♪出会は億千万の胸騒ぎ♪
エキゾチックJapan



▼各部署の声です。今年度の目標は「きずな」です。



スタッフから

今の私

看護師 牧野 可愛

私がルルドの丘の奇病の依頼を受けた時、児童発達支援センターめぐみに異動して六カ月が経った頃でした。何を書こうかと考えていく中で分かったことは私が「人を好き」であるということでした。長年勤めていた、あゆみの広場を離れ、新天地である児童発達支援センターめぐみで働き始めた頃は入所部門と在宅部門の違い、放課後等デイサービス、生活介護といった児童と成人の特色を持つ事業の違いに戸惑うばかりでした。

まずは業務の流れを体で覚えていくこと、児童発達支援センターめぐみを利用される方の名前と特徴をつかんでいくことから始めました。児童発達支援センターめぐみには医師が常時いないため、看護師の確かな判断や力量を必要とします。今は諸先輩方に指導や助言を頂きながら、一生懸命実践する毎日を送っています。そんな思いの中、六カ月経った頃、私の中で変化がありました。それは先にも述べたように人が好きであるということ、そして人の笑顔を見るのが好きであることを再確認しました。コロナ禍が続く昨今、恵の聖母の家だけでなくいろいろな環境の中で人と人がどう繋がっていくかを問われています。あゆみの広場からの経験と職員の方からの力添え、今、児童発達支援センターめぐみで出会った人との繋がりを通しながら自分を見つめ



なおし、努力し、成長していきたいと思っています。

人という字は皆さんも「存じ」のように支え合って成り立っています。人に対しての感謝を忘れず、私の大好きとする笑顔をまた沢山の方に届けたいと思っています。今までに出会った人、今出会っている人、これから出会う人に心からの「ありがとう」を伝えたいです。これからもよろしくお願ひします。

看護課

私の想(こころ)

あゆみ棟看護師 長野 尊治

者同士や支援者と利用者間での接触が、病原体の媒介者となる恐れが高いので、常日頃からの健康管理が重要です。

このような状況がまだしばらくは続くと思いますが、予防ワクチンの接種が進み人々が安心して以前のように両手で手渡しできる生活に戻れることを願っています。これからも、日々努力することを忘れずに精進していきます。

私が恵の聖母の家に入職して、早十一年が経ちます。私は以前、十五年間程ドラッグストアに勤務していましたが、娘の感染症がきっかけで看護師を目指すことを決意し看護学校へ入学しました。
看護学校では、課題やレポートの提出に日々追われ、一年が経過したある日、教務主任の先生に課題を手渡した際に「長野さんは、いつも提出する時にきちんと両手で提出してくれるけど、すごいね。」という言葉が頂きました。私はドラッグストアでお客さまから、お金を預かりする際やお釣りを渡す際に両手で渡すようにしていたので、その習慣が出てしまったのかも知れませんが返答しました。
すると先生から、「いいことなので、これからもずっと続けていってね。」という言葉が頂きました。私にとっては、普段何気なく行っていた行動が、知らず知らずにかちんと身についていたのだと感じました。しかし、このコロナ禍の状況で感染対策により、買い物やお金を支払うにしても、コイントレーに置き、手渡すことがなくなりました。ましては、手に触れることもできるだけ避ける状況です。
また、医療業界では目まぐるしい業務の中での書類や品物を渡す際には、声かけして手渡すことなどほとんどなくなった様に感じます。
恵の聖母の家では、日々の業務において利用者さんと密に接触する機会も多く利用





▼身近な方々からのメッセージです。今年度の目標は「「きずな」」です。

☆☆☆☆ ぴかぴか ☆☆☆☆

新職員のご紹介



①末廣 渚(すえひろ なぎざ)さん
 ②看護師
 ③豊後大野市
 ④食へ歩き・温泉
 ⑤よろしくお願ひします。



①瓜生 愛(うりゅう あい)さん
 ②外来医事
 ③三重町
 ④ストレッチャ
 ⑤笑顔で明るく頑張ります！

① お名前 ② 職種 ③ お住まい ④ 趣味 ⑤ 一言

人事

▼新規採用
 二〇二二年 七月一日付
 看護師 末廣 渚
 二〇二二年 十一月一日付
 医事 瓜生 愛

▼退職
 二〇二二年 六月三十日付
 訓練士 高橋 美里
 二〇二二年 十月七日付
 看護師 藤本 有美
 二〇二二年 十月三十一日付
 看護助手 衛藤 舞

有事に備えた新型コロナウイルス 感染対策に取り組んでいます。

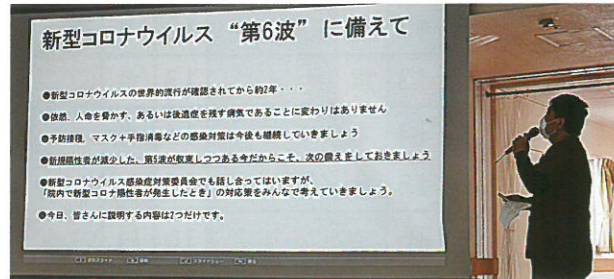
十一月二日、恵の聖母の家では全体朝礼の際に中島施設長より「新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らしていますが、いつ再燃拡大するかわかりません。今ここで改めて感染対策を押し付けておく必要があります。」と挨拶があり、医師より施設内で感染者が発生した際の行動についてお話がありました。

当施設の新型コロナウイルス対策委員会は一週間毎に開催し、「感染者発生状況による区分表(レベル0~4)」「感染予防業務マニュアル・ガイドライン」を作成しています。

レベル0は周囲に感染者もなく、通常の生活活動ができています。レベル1は、見落としや無防備になり易い段階で、同居家族の職場や学校で陽性者の発生があり、濃厚接触の疑いがある場合は、必ず就業前に所属部署の上司に報告し、コロナ対策委員会にも簡易検査の実施と結果の報告をお願いします。

レベル2は、所属部署が病棟外で勤務する職員から陽性者が発生した場合、病棟職員や利用者との接触した場合は、職員の行動履歴を調査し必要な対策や検査を行います。

レベル3は、病棟職員から陽性者が発生した場合、レベル4は、病棟利用者から陽性者が発生した場合、病棟利用者・職員が病棟間をま



大きく移動も制限します。各病棟内での利用者への診療や看護介護には職員は個人防護具の着用になります。勿論、レベル3・4は施設内クラスター発生を念頭に置いて、保健所の指導のもとPCR検査や病床コントロールを行います。

恵の聖母の家に勤めている全ての職員は、所属部署の上司へ周囲の感染状況や疑念を報告し、コロナ対策委員会への情報提供に協力して貰いたいと思います。コロナ対策委員会も皆さんからの情報をもとに、病棟間の移動制限や初期対応の発動や病棟閉鎖、非常勤医師の派遣診療の対策などを検討し対策を発信します。

お互いに情報通になり、感染対策の変更や情報はないか、声を掛けあい情報共有を図りましょう。利用者をコロナウイルス感染症から守るため、職員をコロナから守るため、そして皆さんと皆さんの大切な人をコロナから守るために、ご理解とご協力をお願いします。

十一月十六日、感染防止委員会より「個人防護具の着脱法」について研修会を開催しました。第一部は、事務管理課職員・病棟職員が体験し、第二部は、看護師を対象に行いました。今後も、感染予防対策に取り組んでいきます。

「ご寄附」
 ・白杵市社会福祉協議会さま
 ・恵の聖母の家めぐみ会さま
 ・ロザリイ後援会
 ・利用者後見人様(匿名)
 ・利用者親族様(匿名)
 (順不同)
 ありがとうございます。

「書籍の紹介」
 「知ってもらいたい家族がいる。」
 (著者 子ども専門の作業療法士 青木美紀)
 十月二十七日、行野様より五冊の本を頂きました。六組の親子兄妹のふれあう写真と病気が障がいを受け入れるまでの葛藤とわが子への思いが書かれています。各部署へ配分し職員みんなで読みました。改めて、両親や家族の思いに寄り添った看護や生活支援に努めたいと思います。ありがとうございます。

保護者の皆様から



弟さんからのメッセージ

・ゆきえさん、お誕生日おめでとう。これからも元気で明るく、長生きしてください。もっともっと、いろんな活動を楽しんでね。

祝喜寿

ゆきえさん
2021年7月10日

七月十日(土) 私は七十七歳になりました。お祝膳は私が好きなものばかりでした。お酒を少し飲んで、ほろ酔い気分になりました。オロナミンCはお母さんが面会の時よく持ってきてくれました。それから、お母さんはゆで卵もよく持ってきてくれました。嬉しくて、美味しくて、お腹いっぱいになりました。

職員からのメッセージ

お誕生日おめでとうございます。
 ・これからも、元気いっぱいいろんな活動を楽しんで下さい。
 ・エネルギーに生きるゆきえさんから、私たちが元気をもらいます。



支援学校 訪問教室

白杵支援学校 文化祭

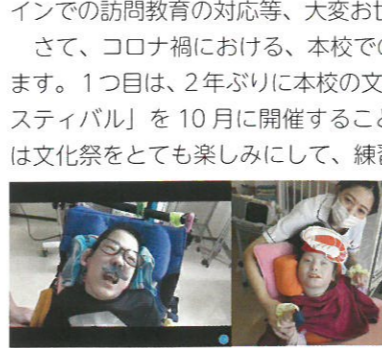
「イムラ・スマイル・フェスティバル」開催！

大分県立白杵支援学校 校長 佐藤 茂

時期が遅くなりましたが、今年度、白杵支援学校に赴任しました佐藤茂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

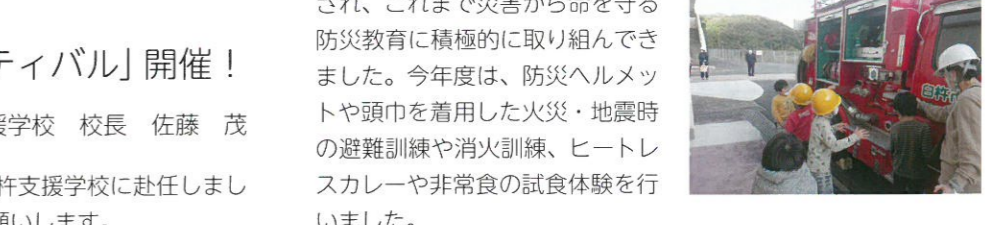
今年度は、49名(小学部20・中学部9・高等部20)の児童生徒が学んでおり、訪問教育は小学部5年生が2名、高等部1年生が1名です。本校の担当は板井聖子と小林美智子で、「恵の聖母の家」の方々にはコロナ禍でのタブレット端末を使ったオンラインでの訪問教育の対応等、大変お世話になっています。

さて、コロナ禍における、本校での教育活動についてご紹介いたします。1つ目は、2年ぶりに本校の文化祭「イムラ・スマイル・フェスティバル」を10月に開催することができました。子どもたちは文化祭をとっても楽しみにして、練習にも一生懸命取り組み、当



日は保護者へ学習の成果を存分に発揮することができました。訪問教育の皆さんも映像で出演子どもたちは劇や合奏、ダンスなどのパフォーマンスを披露しました。

2つ目は、以前「ルルドの丘」にも掲載されましたが、本校は、令和元年度に文部科学省や大分県の防災教育モデル実践校に指定され、これまで災害から命を守る防災教育に積極的に取り組んできました。今年度は、防災ヘルメットや頭巾を着用した火災・地震時の避難訓練や消火訓練、ヒートレスカレーや非常食の試食体験を行いました。



消防車を見学した際に、子どもたちは興味津々で消防士にたくさん質問をしていました。これらの継続的な取組が評価され、今年度、学校安全の文部科学大臣表彰をいただくことになりました。

3つ目は、地元白杵のみそづくりの学習を西日本農業社や大分みそ協業組合の方々のご協力をいただき、総合的な学習(探究)の時間等を活用して行っています。農場に大豆を7月に播種し、今後、収穫、乾燥、脱穀、選別を行い、味噌づくりに取り組んでいきます。脱穀の際には、「ふるい」や懐かしい「唐箕」を使って行います。今後も地域の学習教材を活用し、子どもたちが生き生きと笑顔あふれる学習活動を実践し、地域と共

にある学校を目指していきたいと考えています。これからも、ご協力をお願いします。

行事予定

※青色…外出活動 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談
㊤…権利擁護・虐待防止部会 ㊦…感染対策部会 ㊧…全体朝礼
㊨…労働安全衛生委員会 ㊩…リスクマネジメント部会 ㊪…入浴日

2021年12月			2022年1月			2月			3月			4月			5月		
1	水		1	土		1	火	㊧誕生会	1	火	㊧誕生会	1	金	㊪	1	日	
2	木	㊤	2	日		2	水	㊪	2	水		2	土		2	月	㊪
3	金	㊪	3	月		3	木	㊤	3	木	㊤	3	日		3	火	㊧誕生会
4	土		4	火	㊪	4	金	㊪	4	金	㊪	4	月	㊪	4	水	
5	日		5	水	㊧誕生会	5	土		5	土		5	火	㊧誕生会	5	木	㊤
6	月	㊪	6	木	㊤	6	日		6	日		6	水	外出1日	6	金	㊪
7	火	㊧誕生会	7	金	㊪	7	月	㊪	7	月	㊪	7	木	㊤	7	土	
8	水		8	土		8	火	㊨	8	火	㊨	8	金	㊪	8	日	
9	木	㊦クリスマス祝い	9	日		9	水	㊦	9	水		9	土		9	月	㊪
10	金	㊪	10	月		10	木	㊪	10	木	㊦	10	日		10	火	㊨
11	土		11	火	㊪	11	金		11	金	㊪	11	月	㊪	11	水	
12	日		12	水	㊨	12	土		12	土		12	火	㊨	12	木	㊦
13	月	㊪	13	木	㊦	13	日		13	日		13	水		13	金	㊪
14	火	㊨	14	金	㊪	14	月	㊪	14	月	㊪	14	木		14	土	
15	水	㊩	15	土		15	火	㊨	15	火	㊨	15	金	㊪	15	日	
16	木	もちつき	16	日		16	水		16	水		16	土		16	月	㊪
17	金	㊪	17	月	㊪	17	木	㊩	17	木	㊩	17	日		17	火	㊨
18	土		18	火	㊨	18	金	㊪	18	金	㊪	18	月	㊪	18	水	
19	日		19	水		19	土		19	土		19	火	㊨	19	木	㊩
20	月	㊪	20	木	㊩	20	日		20	日		20	水		20	金	㊪
21	火	㊨	21	金	㊪	21	月	㊪	21	月		21	木	㊩	21	土	
22	水	㊨ ㊥	22	土		22	火	㊨ ㊥	22	火	㊪	22	金	㊪	22	日	
23	木		23	日		23	水		23	水	㊨ ㊥	23	土		23	月	㊪
24	金	㊪	24	月	㊪	24	木		24	木		24	日		24	火	
25	土	御ミサ	25	火		25	金	㊪	25	金	㊪	25	月	㊪	25	水	㊨ ㊥
26	日		26	水	㊨ ㊥	26	土		26	土		26	火		26	木	
27	月	㊪	27	木		27	日		27	日		27	水	㊨ ㊥	27	金	㊪
28	火		28	金	㊪	28	月	㊪	28	月	㊪	28	木		28	土	
29	水		29	土					29	火		29	金	㊪	29	日	
30	木		30	日					30	水		30	土		30	月	㊪
31	金	㊪	31	月	㊪				31	木					31	火	

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

各ご連絡 ご相談先	恵の聖母の家（代表） ……0974-32-7770	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784
	相談支援事業所ころこ…0974-32-7788	保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護
	外来保育きっず…0974-32-7778	地域連携室…0974-32-7667

編集後記

2021年度も終わりです。どんな一年でしたか、大雨や台風の災害やオリンピック・パラリンピックも無観客での開催だったり、異例な出来事がたくさんありました。来る2022年は、コロナウイルスも予防できて、平穏な日常が送れますように… (M・H)